

夕張市議会だより

2015年11月1日

第31号

議会運営委員会

平成27年第3回定例市議会

第3回定例市議会は、平成27年9月10日から18日までの9日間を会期として開催されました。付議されたものは、議案16件・請願1件・選挙1件・認定8件・報告7件・意見書案4件の審議を行いすべて原案通り可決いたしました。

議案

- ◎夕張市財政再生計画の変更について
- ◎夕張市個人情報保護条例の一部改正について
- ◎夕張市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定について
- ◎夕張市職員の再任用に関する条例及び退職手当支給条例の一部改正について
- ◎夕張市税条例の一部改正について
- ◎手数料条例の一部改正について

請願

- ◎安全保障関連法案に関する意見書採択についての請願
- ・請願を議会運営委員会に付託審査の結果、請願の趣旨は妥当と認め、採択すべきものと決定した。

選挙

- ◎夕張市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙に

認定

- ◎委員（敬称略）
 - ・新山純一・佐藤憲道
 - ・菅原光子・澤本正美
- 補充員（敬称略）
 - ・柳沼伸幸・黒澤良道
 - ・外尾堅也・秋元まり子

- ◎平成26年度夕張市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市市場事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市公共下水道事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市診療所事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について
- ◎平成26年度夕張市水道事業会計決算の認定について

報告

意見書

- ◎平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- ◎専決処分報告について
- ◎例月現金出納検査の結果について（平成26年度5月分及び平成27年度5月～7月分）
- ◎夕張市財政再生計画の平成26年度実施状況の報告について
- ◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◎地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- ◎2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- ◎安全保障関連法案の国民への十分な説明と徹底審議を求める意見書



ご意見・ご感想をお寄せください

夕張市議会事務局
本町4丁目市役所内
電話 4頁に記載

■編集委員■

委員長 委員 副委員長

勝子二人哉夫
桂修靖和孝
葉谷山田川島
千熊大本今君
長員員員員
委員委員委員

夕張市議会では議会の活動を多くの市民の皆様にお伝えするために、「議会だより」を発行しています。また、市役所本庁・南支所及びふれあいサロンにも配布しております。

一般質問の 内容と答弁

本田靖人議員質問

保育料負担の軽減に 関する進捗状況について

■質問

(1) 保育料引き下げのスケジュールについて

(2) 現時点で想定される保育料の設定について

■答弁

(1) 9月に開催される夕張市子ども子育て会議での議論を経て、平成28年4月から新保育料でスタートしたいと考えている。

(2) 次の3点を軸に、近隣自治体の保育料と比較しながら金額の設定を検討したい。

① 3歳児以上について一定の所得割課税額を超える階層区分の保育料引き下げ
② 低所得階層に配慮した均等割のみ課税世帯の階層の新設
③ 最も高い階層の保育料上限の引き下げ

破綻10年を検証する 第三者委員会について

■質問

(1) 趣旨と目的について

(2) 具体的な検証内容について

(3) 委員の構成について

■答弁

(1) 財政再建団体に移行してからの約10年間でどのような変化が生じてきているのか、成果と課題を客観的に検証するとともに行財政、地域、自治の再生をより確かなものにしていくという観点から今後どのような方策を実施すべきか検討するために設置する。

(2) 住民負担や人口動態など財政再生団体となっていくことの影響を検証してもらうとともに、その検証結果に基づいて、まだ10年以上の再生計画期間が残されている本市の今後の再生の歩みをより確かなものにしていくため、関係する主体が実施すべき方策について検討してもらう。

(3) 有識者、マスコミ関係者、市民、金融機関の方などに委員となってもらう予定でいる。また、北海道や空知管内の首長についても何らかの形でご参加いただけるよう検討を進めたい。

今川和哉議員質問

観光関連施設の 売却について

■質問

(1) 売却にかかる条件と売却先の選定について

(2) 売却のメリットとデメリットについて

(3) アドバイザリー業務の委託について

■答弁

マウントレースイススキー場及び関連する宿泊施設は市民の貴重な財産であるとともに、地域の活性化を図り、交流人口の増加、安定した経済基盤を構築していくうえで、極めて重要な資源であると認識している。

(1) 専門家の意見を参考に売却条件を整えていきたい。

売却先については、事業実績のある業者に一括購入していただくことが望ましいと考えている。

多くの市民が働いていることから、雇用の継続や、投資目的での転売を防ぐことを売却条件としたいと現時点で考えており、このような内容を一定程度盛り込み

ながら、公募の際には、事業者からの積極的な事業提案を期待しており、それを事業者決定する際の選定委員会における大きな判断材料とする。

(2) 資産売却をすることにより、歳入確保、固定資産税収入が期待できる。

仮に複数の事業提案があった場合、売却金額や事業運営の内容などを総合的に判断していきたいと考えている。

(3) アドバイザリー業務の委託については、売却条件、物件調査、査定、広報宣伝を行う業務となる。

今回の売却物件と同程度の仲介実績があることを要件として、成功報酬制により事業者の公募を行う。



JR北海道のDMV 実用化断念について

■質問

(1) 夕張市まちづくりマスタープランに与える影響について

(2) コンパクトシティ、将来の都市構造計画変更の必要性について

■答弁

(1) DMVは市内の公共交通を一手に担うという考えではなく、デマンド交通の導入などその他の公共交通利用促進と連動を図りながら持続可能な公共交通体系の構築をしていくこととしている。

(2) DMVについては今後の過程も踏まえながら検討を行っていききたい。

熊谷桂子議員質問

夕張市立診療所 次期指定管理者の 公募について

■質問

(1) 初期救急医療体制の強化と、市民の継続雇用について

(2) 在宅医療・整形外科について

(3) 公募に際しての公平性・透明性の確保について

■答 弁

(1) 市内の初期救急医療の中心的役割を担い、初期救急患者のスムーズな受け入れを強化する。そのために新たな補助を行う考え。市民の継続雇用は、可能な限り継続が図れるよう協議したい。

(2) 訪問医療の充実発展と整形外科は週1回を上回る充実を求め、循環器内科など市民のニーズに沿った診療科についても協議する。

(3) しつかりと情報をお伝えし、議会でご判断いただけるよう対応したい。

石炭博物館について

■質 問

(1) 指定管理期間満了後、どこが運営にあたり方向性はどうするのか。また、修繕とその費用について。

(2) 展示内容と「友の会制度」、世界遺産登録と閉館施設の所蔵品について

(3) 展示は石炭の歴史の他、多数の犠牲者を出しながらの石炭産出と、夕張の財政破綻等、地域の暮らし

や歴史にも目を向けるべきではないか

■答 弁

(1) 新たに公募する。石炭博物館再生プロジェクトとして、有識者の中で検討委員会を設置し、修学旅行など有効な活用を検討中。模擬坑道は平成28年度に大規模改修、博物館本体は10月末までには耐震検査の結果がでる。老朽化が著しく平成29年度を目途に大規模改修予定。さまざまな補助金を活用する予定。

(2) 再生プロジェクトにおいて方向性をまとめたい。

(3) 地域の歴史的な経過を後世に伝える施設。人々の生活とかかわりながら、つくられた炭鉱の歴史であり、非常に貴重な歴史

「地域おこし協力隊」のさらなる活用について

■質 問

(1) 定住移住の窓口・雇用づくりの担い手として地域おこし協力隊の増員と、アドバイザー的な立場の活用について

■答 弁

(1) 市の業務のほか、他の仕事づくりにも地域おこし

協力隊が参画し、夕張の魅力を発信することも可能ではないかと考えている。若者の交流や連携による起業支援、行政と連携した情報発信など、今後取り組み課題でも、来年度の地域おこし協力隊の有効な活用について検討したい。

千葉勝議員質問

平成27年度

国・北海道及び夕張市の三者協議についての成果と今後の取り組み方について

■質 問

(1) 今年度の三者協議は、大きな枠組みの議論とした成果について

(2) 計画変更に向けた協議は重点課題ごとなのかそれとも個別協議なのか

(3) 意見交換会でどのような課題について議論したのか

■答 弁

(1) 財政再生計画を推進していく上で、将来にわたる大きな枠組みの議論が必要であることから「持続可能なまちづくり」、「交流人口の増加方策」、「子育て環境の充実」及び「行政執行

体制の確保」について、その課題が生まれてきた経緯現在どうなっているか、また将来どのようなことになっていくのかということを三者で協議ができ認識を共有することができ、理解が進んだ。

(2) 来年度も継続して事業の実現に向けた協議を行い、今後事業が具体化した段階で、それぞれの個別課題について、計画変更に向けた協議を行っていく。

(3) 国・北海道及び市の担当者と一緒に集う貴重な機会なので、財政破綻から、9年目を迎えた今、これまでの行政運営の検証をもとに、7名の課長から11項目について現状を取り巻く課題などについて意見を述べました。行政執行体制の確保では、計画変更をもって計画的な職員採用を認めてもらえるよう今後協議を継続して実施する。また職員の給与の削減は、職員確保の観点から切実な問題と認識しているので、引き続き協議を進めていきたい。

決算審査特別委員会

平成26年度一般会計ほか7つの特別会計決算認定は、9月16日の決算審査特別委員会で審議が行われ、4名の委員から、①26年度予算執行において市長自身としての達成度をどう評価しているのか。②行政執行体制について③施設維持の仕分けについて④収納率向上対策についての大綱質問をし、市長から「公共施設の総合管理計画を策定し、維持が廃止かを明確にする」等の回答があり、8案件は全会一致で認定すべきものと決定されました。

18日の本会議で委員長から審査の経過並びに結果について報告があり、各会計ごとに採決の結果、認定することに決定しました。

決算審査意見

監査委員による決算審査は8月14日から8月27日まで行われ、9月11日の本会議で報告を受けましたので、決算審査意見の内容をお知らせします。

平成26年度の決算については、前年度同様に水道事



業会計を除く7会計の歳入歳出差引きにおいて、約6億9千7百万円の黒字決算となった。

総体としては、あたらしい夕張の再生の骨組みとなる「コンパクトシティ」事業の更なる推進や市内4ヶ所に設置して行政の利便性を図る「行政窓口設置事業」、市内医療機関が輪番にて救急医療を対応する「休日・夜間救急医療体制」の充実、市民の健康や病気に対する予防等の各法律に基づく「市民保健ケア」等が実施されたものである。

当初予算以外にも、臨時的な且つ、緊急的な要素を含む「計画変更」として執行された民間賃貸住宅建設費補助に充当する財源、地域資源「ズリ山」の活用

よる再生エネルギー創出事業としての民間に対する交付金、また市道除雪経費の不足に対応する経費等、行政全般に対し必要不可欠である事業と判断され執行されたものである。

本市のこの状況下であっても、国や北海道に対し民間活力を取り入れた「CBM（炭素メタンガス）」や「ズリの売却」等事業の推進をアピールし、国や関係省庁の補助金や効率的な起債の発行等、将来的には独自財源とするための資本的な開発のための財源確保に努力されていることに対し大いに期待するところです。ふるさと納税において、夕張メロンを返礼品に活用した新たな取り組みにより、全国の方々から多くの寄付金が寄せられ、対前年比約3.7倍となる91、180千円の寄付額に達したものであり、この金額は自主財源確保に資するほか、基幹作物である夕張メロンの宣伝効果にも繋がるものと考えられ、今後事業の継続実施を求めるものである。また、歳入の根幹である

市税各種使用料等自主財源については、財政計画に基づいた使用料の負担増が継続されることであるが、市民に対し納付の理解を得る努力がこれからも必要不可欠となるうえ、市税ほか、住宅、水道等各種使用料の滞納については市民の不公平感を払拭するよう行政が一丸となり対応するべき課題と認識するところである。

財政再建団体から、財政再生団体へと移行し9年目を迎えて「再生夕張」としての骨組みが徐々に進みつつあり、市民・行政が一体となった「まちづくり」を進展させていくことが重要と感ずるところである。

結びに、自然や広大な森林、シューパロダムなど多くの地域の資源の活用と夕張メロンのブランド維持と発展を推進するとともに、子ども達が住み続けたいと思う「魅力ある、あたらしい夕張」の誕生を切に期待することを意見とする。

三者協議の 議長・副議長との 懇談内容

8月24日（月）、25日（火）の両日、国、北海道及び夕張市の三者協議（実務者協議）が行われました。

市議会は24日、厚谷司議長と小林尚文副議長が、総務省自治財政局財務調査課長、北海道総合政策部地域主権・行政局長をはじめとする6名の皆様と約30分間、面談の機会を頂き、今回市が進めようとしている大枠協議に沿った形で市議会として現状の課題について話をいたしました。

特に「子育て環境の充実」についてと子育てと教育を連動させ、市内で高校卒業まで育てようとする行政としての責任を、各施策を通じて明確にしていく必要性が重要になってきていること、またそのためには近隣市町との政策的格差の幅を狭めることが必要な状況であることなどについて、地方交付税交付金の算定における見積額と実際の予算額や、近隣町において実施されている各種事業などを例に挙げ、現状をお伝えしました。

議会行事報告抜粋

全国議長会関係

6月17日全国市議会議長会第91回定期総会に厚谷議長が出席し、地方行政委員に選任されました。

全道議長会関係

8月7日（金）芦別市において平成27年度北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会が開催され、夕張市議会からも厚谷議長をはじめ9名が参加しました。研修会は、龍谷大学政策学部 土山希美枝教授を講師に迎えて「質問力を高め、議会力に活かす」ことをテーマに研修を行いました。

議会事務局の電話番号は

52-3172

です。なお、事務局職員が不在となる場合がありますが、市役所代表電話

52-3131

までお願いいたします。